

- ① 配本希望部数をご記入のうえFAXにてご連絡をお願いいたします。希望部数を優先して配本しておりますので、必ずお申し込み下さい。
- ② 委託期間内返品可 配本後到着の注文書は注文扱いにて出荷させていただきます。
- ③ ★印の図書は特にご注目下さい。平積み頂ければ幸甚です。
- ④ 小局ホームページより、「新刊のご案内」最新号がダウンロードできます。

新刊委託

部数

法政大学出版局 2024年5月23日配本 定価3520円(本体3200円+税)
高榮蘭(こう よんらん) 著四六判上製・352頁
《サビエンティア 73》

出版帝国の戦争 不逞なものたちの文化史

ISBN978-4-588-60373-0 C3321

★★ 帝国日本の出版市場は合法/非合法を問わず、植民地の人々を積極的に読者として包摂しようとした。朝鮮人にとって日本語は抑圧する言語であり、抵抗の思想を学ぶための言語であり、娯楽のための言語でもあった。『戦旗』や『キング』、マルクスやレーニン、金子文子や火野葦平、林芙美子らの思考や文学が、発禁本とともに帝国の支配圏でいかなる思想や文化を醸成したのか、多彩な作品から読み解く。

【日本近代史・朝鮮近代史】

☆関連書:佐藤卓己『ある昭和軍人の記録』(中央公論新社)、藤野裕子『都市と暴動の民衆史』(有志舎)など。

【別刷注文書あり】

新刊委託

部数

法政大学出版局 2024年5月24日配本 定価3520円(本体3200円+税)
新村 拓 著

四六判上製・304頁

北里柴三郎と感染症の時代 ハンセン病、ペスト、インフルエンザを中心に

ISBN978-4-588-31216-8 C1021

★★ 細菌学や衛生学の分野で偉大な功績を残し、近代日本医学の父として知られる北里柴三郎。慢性伝染病であるハンセン病と結核、急性伝染病であるペストとインフルエンザ、そしてコレラやジフテリアなどに対し、北里および研究所員らはいかに向き合い、新たな知を発見しようと努めたか。現代の公衆衛生、コロナ・ワクチン、ハンセン病訴訟等と絡めつつ、そのプロセスを追いかけた日本医療社会史の到達点。

【医療・社会史】

☆7月3日から、北里柴三郎肖像画を用いた新千円札が発行されます! 巻の話題になること必至!

【別刷注文書あり】

新刊委託

部数

法政大学出版局 2024年5月24日配本 定価2970円(本体2700円+税)
ヘルムート・ダンナー 著/山崎高哉 監訳/高根雅啓、弘田陽介、田中潤一 訳四六判上製・218頁
《叢書・ユニベルシタス 1164》

解釈学入門

ISBN978-4-588-01164-1 C1310

★ 解釈学(Hermeneutique)とはどのような思考の方法なのか。日常のあらゆる事象の意味を理解し、言葉や記号を翻訳することそれ自体の意味や作用を吟味するこの学問的構えは、ギリシャ・ラテン以来の西洋哲学の伝統に根ざし、近代以降はシュライアマハー、ディルタイ、ハイデガー、ガダマー、リクールらのテキスト解釈の技法に結実してきた。そのエッセンスを初心者にも分かりやすく記述した格好の導入書。

【哲学】

☆関連書:リクール『他者のような自己自身』、『ディルタイ全集』既刊全10巻(小局刊)。

新装再委託

部数

法政大学出版局 2024年4月24日配本 定価4290円(本体3900円+税)
ルース・シュウォーツ・コーワン 著/高橋雄造 訳

四六判上製・340頁

お母さんは忙しくなるばかり<新装版>

ISBN978-4-588-36421-1 C0022

19世紀以来の工業化、20世紀の家庭電化による家事労働の再編は、主婦の仕事を本当に楽にしたのだろうか? かつては夫や子どもたち、さらには使用人も含めて分担していた家事労働が、テクノロジーの進化とともに主婦に集約されてゆくアイロニカルな過程、今日まで強固に存在する「男女別領域」の教義が確立される過程を、社会史・技術史の視点から描いた家事労働論の基本文献。柏木博氏推薦。

【社会史・技術史】

☆本書の副題は「家事労働とテクノロジーの社会史」。女性と労働、フェミニズムと技術史の棚に展開ください!

新装再委託

部数

法政大学出版局 2024年5月10日配本 定価7260円(本体6600円+税)
マーティン・ジェイ 著/亀井大輔、神田大輔、青柳雅文、佐藤勇一、小林琢自、田邊正俊 訳

四六判上製・796頁

うつむく眼<新装版> 二〇世紀フランス思想における視覚の失墜

ISBN978-4-588-14084-6 C1310

二〇世紀フランス思想は近代における視覚の覇権体制に反旗を翻した。絵画、写真、映画等々の視覚芸術から哲学、宗教、心理学、ジェンダーにいたる諸論点をめぐり、ベルクソン、サルトル、メルロ＝ポンティ、レヴィナス、ラカン、フーコー、デリダらの思考が「反視覚」の一点において重なり合う圧倒的思想史にして、フランクフルト学派の研究で知られる著者の新展開を鮮烈に印象づけた記念碑的大著。

【哲学・思想】

☆関連書:J. デリダ『エクリチュールと差異<改訳版>』、G. ドゥルーズ『シネマ1・2』(以上、小局刊)ほか。

ご担当者様 氏名: [] 担当ジャンル: [] TEL: []

【お願い】

配本の際、ご担当者様の記名が必要となりました。
ご面倒とは存じますが、ご担当者様蘭のご記入をお願い申し上げます。

Fax. 03-5214-5542

法政大学出版局

〒102-0073 東京都千代田区九段北 3-2-3

Tel. 03-5214-5540 E-mail: sales@h-up.com URL: https://www.h-up.com/